

KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ

「ロータリーのマジック」

R.I. 会長 ステファニー・A. アーテック

2024～  
2025年度  
テーマ

R.I. 2720地区テーマ

「寛容な心でロータリーの未来、  
そして若者の未来を考えよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー

三村彰吾

熊本G.R.C.テーマ

「ロータリーに目的を持ち  
人生を豊かにしよう」

熊本グリーンRC会長 宮部康弘



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：宮部康弘 ■幹事：河島一夫 ■会報担当：田中慎二  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

第1542回

2024 - 2025 年度 第17回

令和6年12月9日

### 【例会】

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

・「奉仕の理想」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (宮部康弘会長)

卓話者

御船町恐竜博物館 主任学芸員 池上直樹氏

友情の握手

会長挨拶 (宮部康弘会長)

皆さん、こんばんは。今月のテーマは疾病予防と治療月間です。それなのに先週は風邪をこじらせ欠席してしまい大変失礼致しました。会長挨拶代行で田中純司さん、幹事代行で山口翼さん、S.A.A.代行で山口悦史さんフォローありがとうございました。

さて、今日は日本の国際収支についてお話しさせていただきます。先週、東京に出張して参りました。飛行機や電車の中、咳を我慢するあまり変な音を喉から出しながらの2泊3日でした。

まず感じたのは宿泊費が異様に高いとがきても、出席するかどうかが決める金融資産です。それを賢い

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

う事でした。上野駅の近くに泊ったのですがまずホテルに入ると受付には外国人がたむろっており異様な雰囲気です。少し不安になりました。

部屋に向かうと廊下に外国の人が座っており変な雰囲気です。部屋に入るともう10年変えていないであろう畳6枚分の上にベッドマットが置いてある簡素な部屋でした。あ～失敗した、と思いました。センチュリオンホテルという名前と1泊2万円という価格で安心して決めた事に後悔しました。その夜の懇親会で東京の知人からホテルが高すぎるという話を聞き、ホテルの価格さえも国際競争で負けている日本は大丈夫なのかという心配が頭をよぎりました。

そのような中、本日財務省から10月度の日本の国際収支が発表されていました。なんと、2兆4000億円の黒字で21ヶ月連続の黒字だそうです。円安による原油調達コスト増、コロナにより進んだDXによる海外への赤字などで私はてっきり赤字と思い込んでいましたが、確かに貿易・サービス収支については赤字ですが、2000年代半ばに海外に積極的に投資したお金が増え続け、結果黒字となっています。資源国でない日本が唯一もっている資源は世界第2位の

### 卓話予定

12/16 栗山義則会員・河島一夫会委員 会員卓話

12/23 「年忘れ家族会」(18:30～)

12/30 規約休会

1/7(火)「熊本市域17RC新春合同例会」に例会変更

★1/6(月)→1/7(火)(12:30～ ANAホテル熊本ニュースカイ)

【熊本グリーンRCホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

私たち日本人はしっかり運用して、海外からお金を吸い上げている事に少し嬉しくなりました。以上が東京で海外勢に押される

日本に少し不安になったが、日本人はやっぱり凄い、と感じたエピソードでした。

以上です。最後に、本日欠席されているメンバーに関心を寄せ、メーカーキャップへの声かけをお願いし、会長の挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

### 幹事報告 (河島一夫 幹事)

<例会変更・取り止め>

#### ●例会変更

[熊本西 RC]

12月24日(火)の例会は、年忘れ家族会のため、12月19日(木)18:30より行います。会場は未定です。サインメーカーキャップは行いません。

#### ●例会取止め

[熊本城東 RC]

12月23日(月)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サインメーカーキャップは行いません。

[熊本東南 RC]

12月25日(水)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サインメーカーキャップは行いません。

[熊本北 RC]

12月16日(木)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サインメーカーキャップは行いません。

[熊本 RC]

12月27日(金)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。

[熊本西南 RC]

12月26日(木)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サインメーカーキャップは行いません。

[熊本中央 RC]

12月27日(金)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サインメーカーキャップは行いません。

### 委員会報告

「ロータリーの友」12月号の内容紹介

報告者：河野景治公共イメージ委員長

### 出席報告 (クラブ管理運営 荒木一之 会員)

	会員総数	20名	出席率
12月9日	出席免除会員数	0名	50.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	10名	
11月11日	前回の出席会員数	14名	70.00%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	14名	
メイクアップ済み会員及メイクアップ訪問先			
なし			

### スマイル (田中純司 会員)

#### ●宮部康弘 君、河島一夫 君

- ①「先日は例会を欠席してしまい、失礼致しました。」(宮部会長)
- ②「本日の御船町恐竜博物館の池上様の卓話楽しみです。宜しくお願い致します。」

#### ●河野景治 君

「御船町恐竜博物館の池上様の御来訪に感謝申し上げます。また、私事ですが、店主を務める呉服店「銀染」は下通1番街に移転致しました。今後共宜しくお願い申し上げます。」

#### ●田中純司 君、栗山義則 君、荒木一之 君、山口翼 君、田中慎二 君、江上泰弘 君

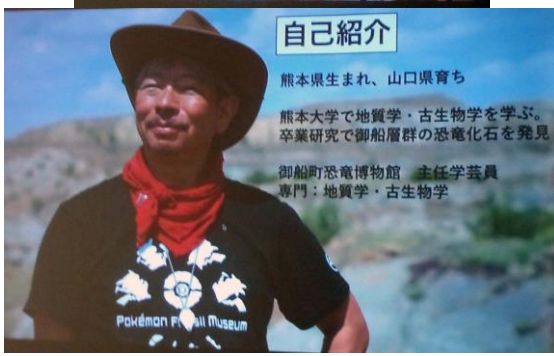
- ①「今朝は今年1番の冷え込みだったそうです。会員の皆様には風邪などひかれぬ様お気を付け下さい。」
- ②「御船町恐竜博物館の池上様の卓話よろしく申し上げます。」



### 3. 例会プログラム

紹介者：河島一夫会員

- ・御船町恐竜博物館 主任学芸員 池上直樹氏  
「くまもとの恐竜たち」



卓話者 御船町恐竜博物館  
主任学芸員 池上直正樹氏



卓話者の池上直樹と宮部康弘会長

### 4. 閉会・点鐘



【ロータリーが女性のキャリアを後押し】  
仕事上のつながりを広げ、新しいスキルを身に

つけ、野心的な目標に取り組むインスピレーションを得る

\*10月発行第1535回週報4 ページ目の続き  
不完全なビジネス界

人脈を築き、新しいスキルを身につける機会は、ビジネス界で働く女性にとって特に重要です。多くの国々で労働力として地位を確立しているにもかかわらず、女性は依然として昇進の壁に直面しています。キャリアサイトLinkedInの報告によると、世界的に見て、企業の指導的立場にある女性の割合は3分の1にも満たないと言われています。新入社員の半分以上を女性が占めているにもかかわらずです。

「私の住んでいるところでは家父長制が主流であるため、男性は、女性よりも男性の同僚を重視する傾向があると思う」と、シエラレオネの元クラブ会長であるシビル・ベイラーさんは言います。彼女はプロジェクト管理の仕事に従事し、ブティックホテルを運営しています。「ネットワーク作りやビジネスに関して男性にアプローチする際には、暗黙の了解として守るべきことや避けるべきことがあります」と彼女は付け加えます。

こうした慣例は女性には明確に示されないことが多く、ほかにも課題があります。たとえ女性が男性と肩を並べる立場であっても、会議では女性がメモを取るものと男性が思い込む場合もあります。また、仕事の後、女性にとって居心地の悪い場所での集まりがある場合もあります。女性が何を着るべきかについて、暗黙のルールがある場合もあります。英国の法律事務所で新しい職に就いたとき、あるロータリアンが学んだのはまさにこれでした。

「私はトルコを担当していたので、服装にはより気を遣っていました」と話すのは、トルコのクラブで会長をしているフンダ・ゲゲバカンさんです。「初日に私は赤い服を着ていたのですが、『素敵だけど、うちの事務所では、女性はグレーか黒の服が強く勧められている』と言われました」

Tネットワークづくりの元祖

国によっては、仕事以外の社会的な機会から女性が排除されていることが、フラストレーションの原因の一つとなっています。そのため、ほかのネットワーク構築の機会を見つけることが不可欠だと話すのは、韓国の元クラブ会長、ヒョン・スック・リーさんです。

「韓国では、特にアルコールが関わる仕事後の集まりは、職業上のネットワーク作りや情報交換の重要な一部となっています」と、映画館チェーンの支部代表

を務めるリーさんは話します。「こうした集まりで人間関係が築かれ、重要な情報が交換されることがよくあります。私はお酒を飲めませんので、こうした機会にはほとんど出席したことがなく、ネットワーク作りやキャリアアップの重要な機会を逃しているように感じることがよくありました」

そこでロータリーの出番となります。男女混合の環境で職業上のつながりを作る機会だけでなく、そのほかにも多くのネットワーキングの機会があります。ロータリー行動グループ、ロータリー親睦活動、友情交換に参加した女性の会員の約3分の2は、職業上のつながりを作ることを目的の一つとして参加しています。

「ロータリーでは、当初からネットワーク構築が行われていました」と話すのは、米国出身のステファニー・アーチックRI会長です。「ネットワークの基本原則は常に同じ。それは、人間関係を築くことです。ロータリーは、誰もが『奉仕したい、世界をより良い場所にしたい』という意欲を持っている場所です。ほかの団体では、必ずしもそうとは限りません」

ロータリーは国際的に展開しているため、それだけ多くの機会が生まれます。米国でモンテッソーリ学校を設立したスージー・ハウ元RI理事は、ロータリーでのつながりを活用して、国際的なゲストを生徒たちに紹介することがよくあると言います。

「ロシアからのロータリー青少年交換学生を学校に招いたり、ニカラグアの子ども合唱団を招いたりしました」とハウ氏。「ロータリーの国際性は、私たちにとってかけがえのない贈り物です」

### かけがえのない「MBA」

多くの女性が、ロータリーがリーダーとしての成長を助けてくれたと感謝しています。冒頭で紹介したオンライン会合で、英国出身の元RI理事で副会長を務めたニッキー・スコットさんは、ロータリーが女性がリーダーシップを取ることを恐れる気持ちを克服する手助けをしてくれると話します。

「勇気を出してリーダーシップの役割を担うことで、多くのことを学ぶことができます。これは、リーダーシップのスキルを学ぶ上で、かけがえのないMBAのようなものです」とスコットさんは言います。

事業を有する女性にとって、ロータリーは、ほかの起業家から学ぶ機会となります。ロータリーの2024年シルビア・ウィットロック・リーダーシップ賞を受賞したマンジュ・ファドケさんは、地元地区の会員のほとんどが事業主であると言います。

「人のために活動する人はあまりいません。ロータ

リーでは、それが成し遂げられてきました」と、インドのバスタガバナーで、低所得層の学生のための職業訓練校を運営するファドケさんは話します。

ロータリーで学ぶリーダーシップのスタイルは、一般の企業社会で得られるものよりも強力であると話す人もいます。

「会社では人に指示を出すことができますが、ロータリーではそうはいきません」と、シンガポールのバスタガバナーで、不動産業を営み、ウェルネス企業を設立したジョアン・カムさんは話します。「ロータリーでは給料が払われるわけではなく、皆が奉仕するために集まります。ですから、異なる方法で意欲を引き出さなければなりません」

メンタリングの機会もロータリーの恩恵の一つであり、女性が職場において得ることが困難となるものものです。コンサルティング会社DDIによる2024年の調査によると、世界の上級管理職に就く女性のうち、正式なメンターを持ったことがあると回答したのはわずか27%でした（男性は38%）。

「ロータリーで互いにできることの中で最も力強い機会の一つがメンタリングです」と、アーチック会長は話します。高等教育機関の管理職やリーダーシップのコンサルタントとして数十年にわたって働いてきたアーチック会長は、このテーマに精通しています。「メンタリングはクラブ内でも、地域社会でも実施できます。高校や中学校でメンタリングを実施しているロータリークラブもあります」

ロータリーに入会することで、仕事上のつながりやビジネス上の教訓よりも価値のあるものが得られることは明らかです。それは、入会前には感じられなかった「可能性」です。

その可能性は、冒頭のオンライン会合でも目の当たりにすることができました。参加者は、キャリアにおける功績について話し合う予定でしたが、それのみに留まることはありませんでした。参加者はつながりや機会についてだけでなく、インスピレーションや想像力についても話しました。ロータリー独自の関係構築と奉仕の組み合わせが、彼らが達成できることの感覚を広げているのです。

「私は、思いやりと寛容の気持ちを育て、忍耐強くなれたと思います。ロータリーは、そういったことをすべて教えてくれます」とマネクさん。「すべては信頼から始まります。ロータリーには、プロジェクトを行う以外にもさまざまな機会があり、自分自身をエンパワメントできます」